施工について
ボディーの状態によって別途必要なものは？

塗膜状態に問題があるままコーティングしても満足する仕上がりを得られない事があります。

その場合は、以下の前処理対応表を参考に状態に応じた前処理を行ってからコーティングしてください。

前処理対応表

症状	対応ケミカル	作業方法※1
鉄粉による軽度のザラツキ	アイアンフロート	スプレー
かなりザラザラしている	SPネンド	※1
塗装が曇っている	SPネンド、コンパウンド※2	ネンド作業→磨き作業※2
ボディー下部にピッチが付着	ピッチクリーン	濡れたままの状態で塗布
バンパーやミラーに付いた虫	メンテナンススプレー	濡れたままの状態でスプレー

※1 作業面のゴミや埃を洗い流してから行ってください
※2 コンパウンドはボディー色や状態によってチョイスしてください
（使用可能製品：ハード1-L、ハード2-L）
※1 ネンドを使う際に付く微細なネンドキズの除去
※2 曇りの程度や状態に応じた作業をしてください

一意的なソリューション ID: #1015
製作者: aw
最終更新: 2009-11-26 04:03

(c) 2024 shop <shop@aquawing.net> | 2024-05-14 10:54